

海上の良さを旭市に必ず引き継ぎます

日本共産党・阿部一成 9月議会報告

合併後初めての旭市定例議会が9月21日から開かれ、旧海上町議の日本共産党阿部一成市議会議員が、一般質問で海上地域住民の願いを新市に届けました。

産業廃棄物処分場

海上住民の「反対」の意思に込えよ

阿部一成議員は、町ぐるみの反対で工事が止まっている産廃処分場について、旧海上町と町民の意思を尊重せよと迫り、新旭市長は「解決したい」と答えました。旧海上町では1987年、「産業廃棄物最終処分場設置反対宣言」を採択し、町

を挙げて不法投棄や産廃処分場に反対してきました。今回、阿部一成市議会議員の質問の主旨に沿って、旧海上町の「宣言」は新旭市の「宣言」に引き継がれました。

農業振興

「わが町の基幹産業」を守れ

2005年度の新規就農者は農家3400戸の新旭市でたった6人です。旧一市三町の首長も「わが町の基幹産業は農業」と口をそろえていましたが、これでは農業は守れません。ところが新旭市長は「融資の返済がでないような農家はやめてもらうしかない」などと、たいへん冷たい態度。阿部一成議員は、農家の実態把握と営農の意欲が出る支援事業を要求しました。



このほか、市内循環バスや新規就農者支援制度、介護保険の改善や少人数教育・子育て支援の問題について、5人の日本共産党議員が分担して質問しました。

みなさんと歩んだ18年 今度は高田のり子さんへバトンタッチ

日本共産党旭市議会議員・前海上町会議員 阿部一成



私が初当選したころは、まだ宴会政治や引退議員への豪華記念品など、「おてもり予算」がまかり通っていました。私はこれをキッパリ拒否して18年間、町民の福祉とくらし、農業と環境を守るためにがんばってきました。

高田のり子さんは、エコテックの処分場問題でもいっしょにたたかっている仲間です。障害者福祉や介護、そして産直運動の経験を生かし、海上の良いところを新市でも守っていくために、先頭になってがんばれる人です。これまでに倍するご支援を、日本共産党と高田のり子さんにお寄せ下さい。

海上民報

2005年10月号外
日本共産党海上支部の政策をお知らせ
します。連絡先：☎55-2289

海上住民とともに歩んで26年

かけがえのない議席を旭市でも



高田のり子
党旭市福祉・環境部長

1952年福岡県会津生まれ、京都西安女子短大卒。介護事業 NPO「ひなたぼっこ」役員。党旭市福祉・環境部長。

阿部一成議員の
みなさんの願いが
実現に全力をあげます

阿部一成議員がみなさんと培ってきた20年を、私は3人の子育てをしながら見守っていました。真夏には子どもが熱中症で倒れるような保育園に、初めてクーラーをつけさせたのも阿部議員でした。
私は、阿部議員が「住民こそ主人公」の立場をしっかりと受け継ぎ、だれもが暮らしやすい旭市をめざして精一杯がんばります。

国保税値上げ・保険証取り上げ反対

住民の命と健康をまもる国民健康保険。日本共産党は、旧町時代には2回値下げをさせました。ところが、その後のあいつく値上げで、払いたくても払えない世帯が急増しています。

日本共産党の阿部議員は、合併を前に旧旭市の水準に合わせようとする値上げ案にも反対をつらぬき、値上げ幅を小さくさせました。



これ以上の値上げと、正規保険証取り上げをやめさせるために、新市でも全力でがんばります。

「農業を基幹産業に」と振興策を要求

国も県も農業振興といえば専業・大規模農家支援策。旧海上町でも、「基盤整備」と称して水田の大型化区画整理事業ばかりをすすめてきました。

日本共産党の阿部議員は、せっかくの補助事業が利用されない農家の実情こそ把握して支援すべきと主張。なかでも後継者問題は農業を守る基本問題として、新規就農者支援や転作支援、直売所や農産物加工所の開設など、営農意欲がもてる振興策を要求しています。



身体を張って産廃処分場をストップ！

18年前に、飯田金也町議から議席を引き継いだ阿部一成町議は、すぐさま産廃処分場反対宣言を提唱。全会一致で採択されました。

エコテックの最終処分場建設反対のたたかいでも、住民投票を実施した宮城県白石市を現地調査し、町での住民投票条例制定をリード。98%の「反対」というすばらしい結果になりました。

2002年10月の県庁前ハンガーストライキにも参加。身体を張って環境を守ってきました。



路線バスを復活、市内循環バス実現へ

13年前、3つあったバス路線が次々と廃止に。町のお年よりが旭中央病院に行くのにも、たいへん不便になりました。

日本共産党の阿部議員は、バス路線廃止直後から議会で取り上げ、町の補助による路線バスの復活を提案し続けました。5年前、旭中央病院まで300円と低料金の路線バスが復活し、町民にたいへん喜ばれ、新市にも引き継がれました。

今度は市内全域循環バスにするためにがんばります。



日本共産党が旧海上町で初議席を得たのは今から26年前。それ以来、飲み食い政治やムダづかいに立ち向かい、議会ことの質問で、町民の願いを町政に届けてきました。議会外でも、親身な生活相談や産廃処分場反対など、みなさんとともにがんばってきました。